

木質バイオマス利用の拡大への支援

政策提言先 林野庁・環境省

政策提言の要旨

木質バイオマスエネルギーの利用促進は、化石燃料の消費を抑制することにより、温室効果ガスの排出量削減による地球温暖化の防止に貢献できることや、未利用資源を有効利用することにより、林業・山村地域の活性化に繋げることのできる重要な取り組みです。そのため、木質バイオマスの利用を促進するための支援策の拡充を提言します。

【政策提言の具体的内容】

地域において木質バイオマスを安定的に利用していくため、以下のような制度の拡充をお願いします。

- 地域の実情に合わせ、木質バイオマスの循環利用システムを構築するため、
- ・木質バイオマス原料の集荷
 - ・関連施設（燃料製造プラント、燃焼機器等）の整備
 - ・環境価値の経済化（CO₂削減クレジットや熱証書など）
- などに対し総合的な支援をする制度

【政策提言の理由】

本県は、豊富な森林資源や全国トップクラスの日照時間、降水量といった自然条件に恵まれています。この豊富な資源を十分に生かし切ることにより、環境対策に資するとともに、本県の中長期的な産業振興や県民生活の向上を実現できるものと考えており、新エネルギービジョンを策定して、その活用に積極的に取り組んでいます。

特に、木質バイオマスの利用については、平成21年度より、国の緊急経済対策を利用し、園芸用農業ハウスを中心に木質バイオマスボイラーの導入を大きく前進させました。

木質バイオマスボイラーが大きく普及し始めた今は、地域の実情に合わせて柔軟な支援を行うことで、木質バイオマス循環利用の仕組みを定着させる好機と考えられます。